

編修趣意書

教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-177	小学校	外国語科	英語	第5学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	516	Here We Go! 5		

▶ 1. 編修の基本方針

互いの気持ちを伝え合う楽しさを知り、 互いの違いを大切にできるように

次世代を担う子供たちには、予測が困難な社会の中でさまざまな変化に向き合い、他と協働しながら新しい価値を創造し、平和な世界を築いていくことが求められています。この教科書で学ぶ子供たちが、外国語学習のはじめの一步を明るく前向きに踏み出せるよう、「多様な考えや価値観を認め合えるように」「言葉を通して伝え合う喜びに気づけるように」「楽しく学び、英語が大好きになれるように」という方針のもと、次のことを基底において編修しました。



確かな英語の力を育む構成

— 何ができるようになるのか、どのように学んでいくのか、ひと目でわかる教科書です。

...

児童が英語でできることを少しずつ、確かに増やしていける教科書を目指しました。学年の目標を達成するために、「できるようになること」を示すとともに、教科書のまとめりごとにテーマに沿って学習を進めていけるようにしました。



互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動の充実

— 既習表現を活用し、思考・判断・表現する力を育む教科書です。

...

英語の表現を練習して使うことにとどまらず、言語活動を通して、目的・場面・状況に応じて英語を使う力を身につける過程を大切にしました。既習表現を思考・判断・表現しながら活用するための工夫をし、言語活動を通して気持ちや考えを伝え合う喜びを実感できるようにしました。



楽しく学び、視野が広がる豊かな教材

— 学ぶ楽しさを実感しながら、力のつく教材の詰まった教科書です。

...

児童が学習に意欲的になり、外国語学習のはじめの一步を前向きに踏み出せるような教材を設けました。これまでも大切にしてきたストーリーアニメの他、自分に必要な言葉を書き込める別冊の Picture Dictionary などを通して、意欲的に学習に取り組めるようにしました。

特色

1

確かな英語の力を育む構成

— 何ができるようになるのか、どのように学んでいくのか、ひと目でわかる教科書です。



学年の目標、CAN-DO リスト

学年の目標があり、できるようになることがわかります。

外国語の学習で大切にしたい「学び方」を、いつでも参照できる位置に。

- できるようになることを明確にするために、「学年の目標」を設定しました。さらに、次学年の目標も示すことで、学習全体に見通しがもてるようにしました。
- CAN-DO リストは学習指導要領に示された5領域の目標に対応するように、わかりやすく整理しました。

5年生の目標：自分や相手のこと、身近な人や地域のことについて、聞いたり、読んだり、話したり、書いたりして、伝え合うことができる。

6年生の目標：日本や世界、自分の将来のことについて、聞いたり、読んだり、話したり、書いたりして、伝え合うことができる。



重点化領域の明示

Unitごとに重点化する領域を示しました。

- 5領域のうち重点的に扱う領域をUnitごとに設定しました。目次では、Unit名の隣に重点化する領域をアイコンで示しています。児童にとっては学習の目標が明確になり、先生にとっては指導や評価の計画を立てる際の目安になります。
- 教科書全体を3つのパートに分け、各パートに5領域の活動をバランスよく配置することで、確かな英語の力が育めるようにしました。
- UnitごとにGoal（学習の目標）を明示し、学習の目的を明確にしました。

「もくじ」では、UnitごとにGoal(学習の目標)を明示。

各UnitのJump!で行う言語活動を重点化領域として設定。

特色

2

互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動の充実

— 既習表現を活用し、思考・判断・表現する力を育む教科書です。



まとめ 世界の友達、You can do it!

児童のパフォーマンスの力を見取れます。

まとめ 世界の友達

- 「まとめ」の言語活動を各学年に3箇所ずつ設定。そこまでのUnitで学んできた表現を「世界の友達」で受容し、「You can do it!」で発信できるように、これらを2見開きで構成しました。
- 1見開き目の「世界の友達」では、主に「聞くこと」の領域の達成度を確認できます。

p.46-47 まとめ 世界の友達

まとめ You can do it!

- ・ 2見開き目の You can do it! では、主に「話すこと」や「書くこと」の領域の達成度を確認できます。
- ・ 先生には、児童のパフォーマンスの力を見取る、記録に残す評価をつける場面として活用していただけます。

Small Talk, Plus One, Phrase Hunt

既習表現を生かし、豊かな言語活動を実現します。

Small Talk

- ・ 各 Unit には、教室での実際の Small Talk のきっかけになるミニアニメを新設。キャラクターが児童に問いかけます。ここでは、既習表現を意図的に扱うことで、定着を後押しします。あいづちの表現も扱うことで、対話の続け方に慣れることができます。

Plus One

- ・ Plus One は、その前に設定された Let's try. のコーナーで扱った話題を別の相手に伝えたり、さらに詳しく相手に尋ねたりする活動です。自分なりに既習表現を加えて伝え合うことで、思考力・判断力・表現力が培われます。Let's try. の活動に補足して行えるため、自然な流れの中で負担なく取り組むことができます。

Phrase Hunt

- ・ Unit の Goal でも既習表現を生かせるよう、Phrase Hunt を新設。二次元コードから見られる表現をヒントに、見えそうな表現を探し、クラス全体で共有する協働的な学びの場面です。



p.48-49 まとめ You can do it!

Small Talk What do you want?

キャラクターが視聴者に問いかけてくれます。

Small Talk



Plus One ほしいものについて、もっとくわしくたずねてみよう。

What color?

Red balloons.
I like red.

Plus One

Phrase Hunt

使える表現をさがして、みんなで共有しよう。

Phrase Hunt

特色

3

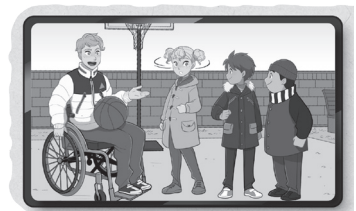
楽しく学び、視野が広がる豊かな教材

— 学ぶ楽しさを実感しながら、力がつく教材の詰まった教科書です。

Story

違いを認め、尊重し合う心を育てます。

- ・ 各 Unit の導入には、キャラクターたちが互いの考えを受け入れながら成長するアニメを設定。ストーリーを通して、尊重し合うことの大切さを実感できます。



Story

All About Me

自分だけのシートで、学習の成果が見えます。

- ・ 1年間の自分の学びが可視化されるよう、各学年の巻末に学習の成果が一覧できるシートを設定。自己紹介の際にも活用できるシートです。自分なりの目標を書いたり、イラストを好きな色で塗ったりして、愛着もてるシートに仕上がります。



別冊 Picture Dictionary (絵辞典)

伝えたいことを表現できる語彙力を育てます。

- ・ 教科書巻末の Picture Dictionary は、教科書から取り外しができるようにしました。Unit の学習で使う語彙を厳選して掲載し、自分が使いたい語彙を書き加えらえるようにして、語彙力を高めます。
- ・ 全ての語彙は、4線とともに表示。中学年で学習した語彙には「紫の足跡マーク」を付しています。

▶ 2. 対照表

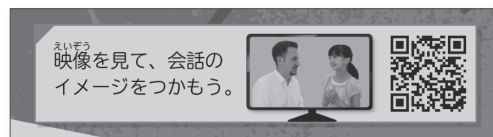
[第5学年]

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
こんにちは。友達になろうよ。	教科書に登場する世界の小学生の挨拶に触れることで、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。【第五号】	見返し
さあ、行こう。	英語を学習することの意味を平易に伝え、自主的・自律的に学習する態度や国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。【第二号】【第五号】	2
この教科書の構成と使い方	教科書全体や各Unitの学習の流れを示し、自主的・自律的に学習する態度を養います。【第二号】	6-7
5年生でできるようになること (CAN-DO)	学年を通してできるようになることを一覧で示し、個人の能力を伸ばし、自主的・自律的に学習する態度を養います。【第二号】	8-9
Let's Start 1 ~ 3	コミュニケーションで大切にしたい4つのキーワードを冒頭で示し、豊かな情操と道徳心、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養います。【第一号】【第三号】	10-15
Unit 1 Hello, everyone.	コミュニケーションの基本である「挨拶」「自己紹介」から学習を始め、自他を敬愛する態度や公共の精神を養います。【第三号】	16-23
Unit 2 When is your birthday?	お互いの誕生日と欲しいプレゼントをたずね合う活動を通して、自他を敬愛する態度を養います。【第三号】	26-33
Unit 3 What subjects do you like?	世界の小学生の時間割を伝え合い、自分が考えた時間割を発表する活動を通して、他国を尊重する態度や自主・自律の精神を養います。【第二号】【第五号】	36-43
Unit 4 He can run fast. She can do <i>kendama</i> .	できることやできないことを紹介する活動を通して、個人の価値を尊重する態度や、自他を敬愛する態度を養います。【第二号】【第三号】	50-57
Unit 5 My hero is my brother.	自分のあこがれの人を紹介する活動を通して、職業に関心をもち、勤労を重んずる態度や自他を敬愛する態度を養います。【第二号】【第三号】	58-65
Unit 6 Where is the library?	だれもが住みやすい町を考えて道案内をする活動を通して、豊かな情操と道徳心や、主体的に社会に参画する態度を養います。【第一号】【第三号】	68-75
Unit 7 What would you like?	地域の名産品を広めるためにオリジナルメニューを考える活動を通して、創造性を培うとともに、我が国と郷土を愛する態度を養います。【第二号】【第五号】	80-87
Unit 8 This is my town.	自分の住む町の魅力を伝える活動を通して、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度や、自然を大切にすることを養います。【第四号】【第五号】	90-97
Alphabet Time 1 ~ 8	大文字と小文字の仲間分けの方法を考えたり、アルファベットの音と文字の関係を理解したりする活動を通して、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養います。【第一号】	24-25 34-35 44-45 105-109
まとめ 世界の友達 1 ~ 3	世界各国の小学生の考えや暮らし方に触れることで、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。【第五号】	46-47 76-77 98-99
まとめ You can do it! 1 ~ 3	One-minute TalkやEveryone is special.の詩を発表する活動を通して、自他を敬愛する態度を養うとともに、地域の魅力を伝えるチャンスを発表する活動を通して、我が国や郷土を愛する態度を養います。【第三号】【第五号】	48-49 78-79 100-101
言葉について考えよう 1 ~ 2	日本語と英語の違いや心をつなぐ言葉について考えることを通して、真理を求める態度や自他を敬愛する態度を養います。【第一号】【第三号】	66-67 88-89
英語の物語 Yes, you can.	「できる」という自信をもったホッキョクグマの子供の物語を通して、豊かな情操と道徳心を培い、環境の保全に寄与する態度を養います。【第一号】【第四号】	102-103
All About Me	自分のことを書いて世界に一つだけのシートを作る活動を通して、個人の価値を尊重し、自他を敬愛する態度を養います。【第二号】【第三号】	110-114
Picture Dictionary	自分が表現したいことに合う語彙を探してさまざまな活動を行うことを通して、創造性を培い、自主的・自律的に学習する態度を養います。【第二号】	別冊

▶ 3. 上記の記載事項以外に意を用いた点や特色

学習上の参考に供するための資料

- 教科書の中で、「二次元コード（QRコード）」が示された箇所には、学習に必要な全ての音声や映像の他、発表ややり取りの言語活動のモデル映像など、児童の興味・関心を高めたり、学習を深めたりできる資料を豊富に収めました。家庭学習にも資するよう工夫し、自律的な学習者の育成にも配慮しました。



全てのUnitのGoalと学期のまとめのYou can do it! の二次元コードには、実写のモデル映像を収録。

特別支援教育への配慮

ユニバーサルデザイン・カラーユニバーサルデザインの観点から、全ての児童に使いやすい教科書を目指しました。教科書の全ページについて、専門家の校閲を受けています。

学習支援上の配慮

- 学習の流れを把握し、見通しをもつことが児童の理解を助けます。そこで、全てのUnitにはHop!の右上で学習全体の流れを示すとともに、Unitの構成を統一し、迷わず学習できるようにしました。

色覚特性への配慮

- 図表は、色だけに頼ることなく線の種類や濃淡、地紋でも識別できること、色覚特性により判別しにくくなる色の組み合わせは行わないことなどを基本に作成しました。

用字や書体に関する配慮

- 児童が識別しやすく書きやすい4線の幅に対応した、アルファベットの書体を独自に開発して使用しました。
- 小さな日本語の表記は視認しやすく学習しやすいユニバーサルデザイン書体を使用し、視認性を高めました。
- 当該学年以降の配当漢字には、全て振り仮名を付しました。

人権上の配慮

- 登場する人物に性別による偏りがないよう、また、人種・身体的特徴などについても、多様性に意を用いました。

文部科学省教材との関連と言語材料の配列・選定について

- 文部科学省の中学年教材 Let's Try! で学習した表現や語彙を、教科書の中でもくり返し使えるようにしました。単元構成は、文部科学省の高学年教材 We Can! の内容を踏まえることで、担任・専科を問わず、指導者がこれまでの授業の成果を生かして安心して使えるように配慮しました。
- 文部科学省教材 Let's Try! や We Can! との対応はもちろん、中学校検定教科書や英検、CEFR- J や国際的な基準等を基に語彙を分析し、教科書で触れる語彙を712語に設定しました。既習の表現や語彙に漆塗りのように何度もくり返し出会うようにして定着を図れるようにしました。

中学年・中学校との接続について

- 5年生の冒頭に置いたLet's Startには、3～4年生で学習した英語の基本表現を復習できるページを設け、児童が大きな負担を感じずに学習が始められるようにしました。
- 主体的かつ継続的に学ぶ姿勢をもった自律的な学習者の育成に資するために、学年の最後に「All About Me」を用意し、自身の成長を実感できるようにし、次の学年や中学校の活動に生かせるようにしました。

ICT機器の活用について

- 「ICTを活用しよう」というコーナーやページを新設し、ICT機器を授業に生かした小学校の例を紹介することで、全国で機器を積極的に授業に活用していただけるようにしました。

ICTを活用しよう



カメラ機能を使って、発表の様子をさつえいしてみよう。自分でも気づかなかつたことに気づくことができるよ。

【神奈川県小学校の例】

p.79 ICTを活用しよう

編修趣意書

学習指導要領との対照表、配当授業時数表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-177	小学校	外国語科	英語	第5学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	516	Here We Go! 5		

▶ 1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色

1

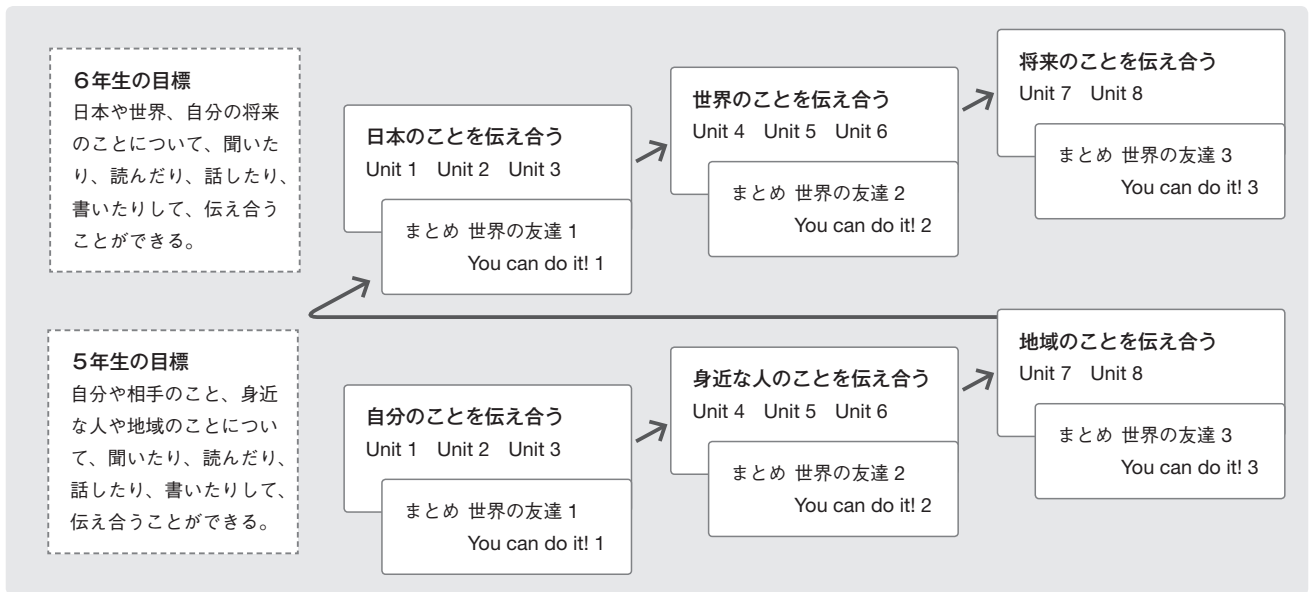
確かな英語の力を育む構成

— 何ができるようになるのか、どのように学んでいくのかが、ひと目でわかる教科書です。

✓ 着実に力を育む系統性

学年の目標やテーマを設定。

- 各学年でできるようになることを明確にするために、「学年の目標」を設定しました。さらに、教科書を3つのパートに分けてテーマを設定し、見通しをもって段階的に学習が進められるようにしました。



✓ 指導と評価の一体化につながる工夫

各 Unit で重点化する領域を設定。



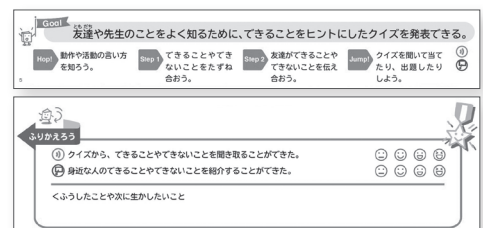
- 5領域のうち重点的に扱う領域を Unit ごとに設定しました。目次では、Unit 名の隣に重点化する領域をアイコンで示しています。児童にとっては学習の目標が明確になり、先生にとっては指導や評価の計画を立てる際の目安になります。

Unit は各学年8つにスリム化し、各7時間で統一。

- Unit は Hop! → Step 1 → Step 2 → Jump! で構成。各 Unit を 7 時間で統一しました。全体で 8 つの Unit と 3 つのまとめで構成しました。

「学習の目標」「学習の流れ」「ふりかえり」を明示。

- 各 Unit の導入の Hop! には、「学習の目標」を示し、Jump! には「ふりかえろう」を設定。各 Unit で「何ができるようになるのか」「どのように学んでいくのか」を明確に意識して学習できます。



上：Hop! 学習の目標、下：Jump! ふりかえろう

 豊かな言語活動のために

既習表現を生かすための工夫を随所に。

- ・言語活動は自分の気持ちや考えを伝え合えるよう、既習表現を活用できるように工夫しました。

Small Talk

- ・各 Unit には、教室での Small Talk のきっかけになるよう、二次元コードからミニアニメが見られるようにしました。ミニアニメではその Unit での新出表現の他、既習表現を意図的に扱っています。

Plus One

- ・Plus One では、直前の Let's try. のコーナーで出た話題をさらに詳しく聞いたり、既習表現を加えて質問したりできるようにしました。Let's try. に加える形で行うため、負担なく取り組むことができます。

Phrase Hunt

- ・Unit の Goal では、Unit で学んだ表現以外にも、使えそうな既習表現を考えられるよう、Phrase Hunt を設定。二次元コードのスライドをヒントにして、豊かな言語活動が実現できます。

まとめ 世界の友達 / You can do it!

- ・複数の単元の学習の後、各学年 3 箇所にもまとめの言語活動として、世界の友達 / You can do it! を設定。その学期までに学んだ表現を受容・発信する場面を用意し、児童のパフォーマンスを評価できる教材を目ざしました。

 5領域の言語活動

5領域の言語活動の内容をさらに工夫。



【聞くこと】

- ・アニメーションを通して大まかな概要を捉える Story をはじめ、Unit の Let's listen and point. や Let's listen.、Let's watch and think. など、豊かなインプット教材を用意しています。
- ・まとめ「世界の友達」では、「あなたなら、他にどんなことをききたいかな」という問いを設定し、○×形式で回答するだけにとどまらない、思考を働かせて聞き取るための工夫をしました。



【話すこと(やり取り)】

- ・誕生日に欲しいものについてやり取りしたり、さいころを使った英語のトークに挑戦したりするなど、児童の生活になじみのある活動や、どんな学校でも無理なくアレンジしやすい言語活動で構成しました。
- ・Let's try. や Plus One ではあいづちなどの Response を積極的に示し、やり取りを続ける力を育みます。



【話すこと(発表)】

- ・「多文化共生社会」「持続可能な世界」を創り出す第一歩になることを願い、互いを認め合い、思いやる心を育めるよう、「Everyone Is Special」の詩を作る(5年)、「Me on the Map」を作る(6年)などの言語活動を設定しました。確かな発表の力を培うとともに、地球市民として大切な多様性への理解や、人間的な成長につながる内容です。



【読むこと】

- ・Alphabet Time では、文字の形を丁寧に導入するとともに、音と文字の関係を認識する Sounds and Letters、イラストを手掛かりに単語や文の読み方を推測する力を養う Fun with Alphabet を設けました。
- ・学年末には読む力が身につけてきていることを実感できる、SDGs に関連する英語の物語教材を設けました。



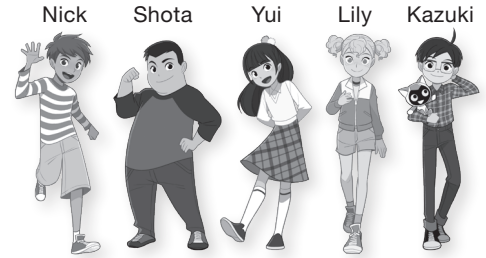
【書くこと】

- ・Alphabet Time では、単語を書くときの適切な文字の間隔や基本的な句読法を巻末で提示し、基本的な文の書き方を身につけられるように配慮しました。
- ・Unit の Goal などでは、まとまりのある文を書く活動を設定し、既習表現をうまく使って、自分の書きたいことを表現するよう促したり、相手に伝わりやすい順序を考えたりさせるような言語活動を設けました。

✓ Story

ストーリーアニメをさらに充実。

- ・各 Unit の導入には、小学生のキャラクターたちが繰り広げるストーリーアニメを設けました。視覚情報がヒントになるので、コミュニケーションの目的や場面、状況を自然な文脈の中で理解できます。
- ・性格や出身の異なるキャラクターが互いの考えを受け入れながら成長するストーリーを通して、違いを認めて尊重し合うことの大切さを実感できます。
- ・身近な話題から、海外とオンラインで話をする場面や、SDGs に関連する話題へと、徐々に広がりをもたせています。

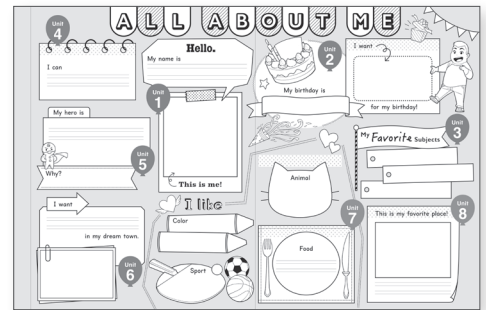


個性豊かなキャラクターたち

✓ All About Me

学習の成果が一覧できるシート。

- ・巻末に自分が表現したいことを書き溜めて一覧できるシート All About Me を設定。学年末には1年間の学びの記録として、できるようになったことが一目で確認できる、愛着のもてるシートです。
- ・できあがったオリジナルのシートは、海外とのオンライン交流や、中学校1年生の自己紹介に使うなど、幅広く活用することができます。



巻末 All About Me

✓ Picture Dictionary

絵辞典を別冊に。

- ・絵辞典を教科書の巻末に別冊として挟み込みました。本体から取り外しができるので、絵辞典を参考に書き写しをする際や、Unit の学習の中で語彙を探しやすくなります。
- ・全ての語彙を4線とともに表示しました。さらに、3・4年次に触れた語彙には「紫色の足跡マーク」を、5年次に触れた語彙には「オレンジ色の足跡マーク」を付しました。
- ・自分が使いたい語彙を追加できるよう、書き込み欄を用意しています。



別冊 Picture Dictionary

✓ 読み書きの学習

スモールステップで提示。

- ・読み書きの学習は、児童の学ぶ意欲を大切にしつつ、つまづかないように段階を追って丁寧に慣れ親しめるようにしました。5年生は Alphabet Time 4 以降を巻末にまとめて掲載し、体系的な文字の学習ができるようにしました。



p.105-109 Alphabet Time

✓ 世界の友達

世界の小学生の映像を刷新。

- ・世界12か国で実際に生活する小学生の映像は、全て新たに撮り直しました。本物の情報から、多様な文化や価値観に触れられるようにしました。



世界の友達

編集上の留意点	
1 教育基本法・学習指導要領への対応	<ul style="list-style-type: none"> ◆教育基本法や学校教育法の理念を踏まえて、特に次の点に意を用いました。 <ul style="list-style-type: none"> ①自主・自律の精神の育成、②自他の敬愛と協力を重んずる態度の育成、③環境の保全に寄与する態度の育成、④我が国と郷土を愛する心の育成、⑤他国を尊重する態度の育成 ◆学習指導要領の方向性に対応し、特に次の点を工夫し配慮しました。 <ul style="list-style-type: none"> ①外国語によるコミュニケーションの基礎的能力の育成、②外国語とその背景にある文化への理解、③思考力、判断力、表現力の育成、④コミュニケーションの目的、場面、状況に応じた言語活動、⑤学年や単元目標の明確化と学習の見直しや振り返りへの配慮
2 内容と系統	<ul style="list-style-type: none"> ◆学習指導要領の各学年の目標及び内容がもれなく指導できるよう、教材を選定・作成しています。 ◆各単元・教材のねらいを明確にし、基礎的・基本的な内容が着実に身につけられるよう、学年内・学年間を通して系統的に位置づけています。 ◆学習指導要領に示された言語活動例を段階的にもれなく扱えるように、教材を作成・配置しています。
3 配分・配列	<ul style="list-style-type: none"> ◆各学年を大きく3つのまとまりに分け、全体を8つのUnitで構成しています。まとまりごとの教材数は、発達段階や学習の持続性を考慮し、バランスよく配列しています。 ◆各Unitでは、5領域の中で特に重点的に学習する領域を設定しました。目次やHop!の目録欄では、重点的に扱う領域のアイコンを示しています。 ◆3学期制、2学期制のどちらにも対応するよう、教材数・領域のバランスを工夫しています。 ◆各学年に、別冊として取り外しができる絵辞典を付け、Unit等での学習で語彙や表現を生かせるようにしています。
4 教材の選定	<ul style="list-style-type: none"> ◆各学年を通じて、発達段階を考慮するとともに、児童の学習意欲を喚起するよう、内容・題材を選定しています。 【聞くこと】 目的や場面、状況に応じて英語を聞くことを重視し、各UnitではStory や Let's listen and point., Let's listen.やLet's watch and think.など、豊富な聞く活動を位置づけました。各UnitのLet's listen.では、語句や表現を聞き取る活動、必要な情報を聞き取る活動、短い話の概要を捉える活動を系統的に配置しました。また、各UnitのLet's listen.の内容や構成は、右ページの言語活動を行う時のヒントとなるように意図をもって作成しました。さらに、全てのUnitにLet's sing.のコナーを設け、古くから英語圏で愛されている歌を通して英語のリズムや文化に触れることができるようにしました。また、各UnitのLet's chant.には、記号と文字による発音の指示を入れ、聞いたり口ずさんだりするときのポイントをわかりやすく示しました。 【話すこと(やり取り)】 Let's try. や Plus Oneでは、「あいづち」などのResponseが大切であることを示し、やり取りを続ける力が養われるように工夫しています。また、Small Talkでは二次元コード内にミニアニメを用意し、キャラクターの質問をきっかけにして指導者と児童、または児童同士がSmall Talkでのやり取りを続けられるように工夫しています。 【話すこと(発表)】 各UnitやまとめのYou can do it! では、全体を通して発表の活動に偏ることがないように、やり取りの活動とのバランスに配慮しています。また、全体を通して、人やものを紹介したり、自分のことを伝えたり、地域や国のことを発表したりする活動など、児童の発達段階に合った発表の活動を設定しました。 【読むこと】 5年の教科書巻頭のLet's Startからアルファベットの大きな文字と小さな文字に繰り返し触れて、自然と識別することができるようにしています。また、UnitのJump!にLet's read.を設け、これまでに聞いたり話したりして慣れ親しんできた表現を読む活動を通して読む力を養えるようにしています。各教科書の巻末には「英語の物語」を設定し、6年ではさらに「おすすめの絵本」のコナーを加えて、英語の絵本を紹介しています。 【書くこと】 各学年にAlphabet Timeを設け、アルファベットの大きな文字と小さな文字に繰り返し触れて、書くことができるようにしています。また、絵辞典裏表紙のアルファベット表では大きな文字の形や書き方の確認を、教科書巻末の「単語や文の書き方」では、書くときのルールをいつでも確認できるようにしています。各Unitでは、語句をなぞったり、書き写したりする活動を系統的に配置しています。
5 地域性への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ◆話題・題材は、地域的な偏りを避けるとともに、国際的視野が育つように、バランスの取れた構成になっています。また、5年には、都道府県にゆかりのあるものをチャンソのリズムに乗せて発表する活動を位置づけ、郷土の文化への関心を高める工夫をしています。
6 他教科・日常生活等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ◆他教科等との関連が図れるように、題材の選定を工夫しています。また、他教科連携に該当する教材にはLinkマークを入れ、ひと目でわかるように示しています。 【国語】「言葉の準備運動」「言葉について考えよう」など 【社会】6年 Unit 5 I want to go to Italy. など 【理科】6年 Unit 5 We live together. など 【道徳】6年 Unit 2 Welcome to Japan. など 【学校行事】6年 Unit 4 My Summer Vacation(夏休み)、6年 Unit 7 My Dream(キャリア教育) など ◆特に国語との関連については、両学年に「言葉について考えよう」という教材を設定したり、まとめ You can do it! 2 で金子みすゞの詩を取り上げるなどして、全体を通してよりよい言葉の使い方を考えられるようにしています。また、別冊の絵辞典には、「日本語と比べよう」や「MEMO」というコナーを設け、言葉への興味・関心を深められるようにしています。
7 情報活用・ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> ◆各学年に、特設「ICTを活用しよう」を位置づけ、英語の授業の中でICT機器を積極的に活用できるようにしています。 ◆「二次元コード」には、児童が学習を進める中で参考となり、さらに興味・関心をもって学べるアニメーションや映像、音声を収めています。
8 表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ◆表記・表現の基準は全学年にわたって統一し、適切な表記が身につくよう配慮しています。
9 挿絵・写真・図など	<ul style="list-style-type: none"> ◆児童が内容を推測しやすいよう、また、コミュニケーションの目的や場面、状況がわかるよう、写真やイラストを適切に配置しています。 ◆Unitのゴールの言語活動や、まとめのYou can do it! では、活動の様子を写真で示し、言語活動の様子が具体的にイメージできるようにしています。さらに二次元コードからは、活動の参考映像も見られるようにしています。
10 製本・印刷・活字など	<ul style="list-style-type: none"> ◆製本は堅牢で、印刷は鮮明で読みやすく、特に色覚特性に対応するために、配色・色調にも配慮しています。 ◆原料や製法についても、十分に配慮しました。環境に負荷の少ない用紙、植物油インキを用いています。 ◆巻末のカードやシート類にはミシン目を入れ、すぐに取り外して活動に生かせるようにしています。 ◆日本語の改行の位置は、可能な限り読みやすい位置になるよう配慮しています。また、英語の文についても、できる限り改行せずに、読みやすさや書き写しやすさに配慮しています。 ◆日本語の小さな文字は、読みやすいUD書体を使用しています。 ◆アルファベットについては、児童が学習しやすい4線の幅に対応したフォントを独自に開発して使用しています。
11 特別支援教育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ◆学習上支援が必要な児童のために、またユニバーサルデザインに対応した教科書作りという観点から、特に以下の点に配慮しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・情報のまとまりが認識しやすいように、教科書の3つのまとまりごとに赤・青・黄のテーマカラーを設けるとともに、5つの領域は児童にもわかりやすいアイコンを付けて示す。また、図版の周りを線で囲むなどして明確に区別できるようにする。 ・色覚特性に配慮して、色だけに頼ることなく、形や線の種類、濃淡、地紋などでも識別できるように作成する。また、色を問いとする学習活動を設定しない。説明の際は、色以外の情報も合わせて示すなどして教材化を図る。
12 安全・防災への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ◆各学年に「災害と英語」という教材を設け、リスニングの活動を通して防災への意識を高められるようにしました。 ◆6年には、阪神・淡路大震災の直後に小学校の先生が作った「しあわせ運べるように」という歌が、国内外で英語で歌い継がれていることを紹介しています。この歌をきっかけにして、安全・防災への意識を深められるようにしました。
13 中学年、中学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校生活への不安をなくし、明るいスタートが切れるよう、5年のUnit 1に入る前に、中学年で既習事項を確認できるLet's Startを設けています。 ◆各学年の絵辞典では、中学年までに慣れ親しんできた語彙に「紫色の足跡マーク」を付し、児童が圧迫感を抱かずに安心して使える語彙を増やしていくよう、配慮しています。また、5年絵辞典では、3・4年の学習で慣れ親しんできた表現の一覧を掲載しています。 ◆6年の巻末に「中学校に向けて 英語の学習を続けていこう」を設け、中学校への接続を図っています。また、6年のUnit 7では、児童に中学校生活への期待をもたせるため、本物の中学生が英語で学校生活を紹介する映像を視聴する活動を設けています。 ◆6年の巻末「All About Me」の説明では、このシートを中学校での自己紹介に生かせることを記し、活用を促しています。
14 その他の配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ◆持続可能な開発目標であるSDGsについては、関連する教材にアイコンを付すとともに、裏表紙にその意図を記すことで、授業で関連させて扱えるようにしています。また、各学年の最後に位置付けた「英語の物語」では、関連するSDGsの目標を添え、地球規模で課題を解決すべきであることに気づけるようにしています。 ◆感染症対策として、活動を例示する際のイラストでは机と机の間隔を保ち、互いの身体に触れ合うような活動を掲載しないなどの配慮をしています。 ◆家庭学習で生かせるように、学習に必要な映像や音声などは全て二次元コードからいつでも確認できるようにしています。また、裏表紙には「家庭での学習に使える 二次元コードコンテンツ」という説明を入れ、二次元コードを家庭学習に生かすよう促しています。

▶ 2. 対照表

[第5学年]

図書の構成・内容		学習指導要領の内容				箇所(頁)	配当時間
		(1) 主な言語材料	(2)	(3) 言語活動及び言語の働き			
Let's Start	1 いつも「たいせつ」 言葉の準備運動	気持ちや状態を表す言葉 Hi.という挨拶		ウ(ア)(イ)	場面 学校、家庭、挨拶 働き 挨拶	10-11	2
	2 3,4年生で学習した表現	中学年で既習の表現		ア(ア)	場面 家庭 働き 質問、説明、提案	12-13	
	3 アルファベット	活字体の大文字・小文字		イ(ア)(イ)		14-15	
Unit 1	Hello, everyone.	・ My name is How do you spell it? ・ What sport do you like? I like 語彙 色、スポーツ、果物	ア	ア(ア)(ウ) ウ(ア)(イ)(ウ) エ(イ)	場面 学校、挨拶、 自己紹介 働き 挨拶、質問、説明	16-23	7
Alphabet Time 1		活字体の大文字		イ(ア)(イ) オ(ア)		24-25	
Unit 2	When is your birthday?	・ When is your birthday? My birthday is ・ What do you want for your birthday? I want 語彙 月、序数、身の回りの物	ア	ア(ア)(イ)(ウ) ウ(イ)(ウ)	場面 家庭、地域、買物 働き 質問、説明、 聞き直す	26-33	7
Alphabet Time 2		活字体の小文字		イ(ア)(イ) オ(ア)		34-35	
Unit 3	What subjects do you like?	・ What subjects do you like? I like ・ What do you have on ...? I have 語彙 教科、曜日	ア	ア(ア)(イ)(ウ) ウ(イ) エ(ア)	場面 学校 働き 質問、説明、相づち、 発表	36-43	7
Alphabet Time 3		活字体の大文字と小文字		イ(ア)(イ)		44-45	
まとめ	世界の友達 1	既習の言語材料		ア(ウ)	働き 質問、説明	46-47	1
	You can do it! 1	既習の言語材料	ア	ウ(ウ)	働き 質問、説明	48-49	2
Unit 4	He can run fast. She can do kendama.	・ Can you ...? Yes, I can. / No, I can't. ・ He [She] can / can't 語彙 動作、活動	ア	ア(ア)(ウ) ウ(イ)(ウ) エ(ア) オ(イ)	場面 学校、家庭 働き 質問、説明、発表、 褒める	50-57	7
Unit 5	My hero is my brother.	・ Who is this? He [She] is ・ He [She] is(家族、職業、性格など) 語彙 家族、職業、性格など	ア イ	ア(ア)(ウ) イ(エ) ウ(イ) エ(ア) オ(イ)(ウ)	場面 学校、家庭 働き 質問、説明、命令、 相づち、発表	58-65	7
言葉について考えよう 1		日本語と英語のちがひ 災害と英語		ア(ア)		66-67	1
Unit 6	Where is the library?	・ Where is ...? It's on / in / under / by ・ Where is ...? Go straight. Turn right / left 語彙 施設、店、場所を表す前置詞	ア	ア(ア)(ウ) ウ(ア)(イ) オ(イ)	場面 家庭、地域、道案内 働き 質問、説明、命令、 褒める	68-75	7
まとめ	世界の友達 2	既習の言語材料		ア(ウ)	働き 質問、説明	76-77	1
	You can do it! 2	既習の言語材料	ア	エ(ア) オ(イ)	働き 説明、発表	78-79	2
Unit 7	What would you like?	・ What would you like? I'd like ・ How much is it? It's 語彙 飲食物、値段	ア	ア(ア)(イ)(ウ) ウ(ア) オ(イ)	場面 家庭、地域、食事 働き 挨拶、質問、説明、 相づち、承諾、依頼	80-87	7
言葉について考えよう 2		心をつなぐ言葉		ア(ア)	働き 依頼、褒める、質問、 お礼	88-89	1
Unit 8	This is my town.	・ We have ・ You can see / eat / enjoy 語彙 施設、動詞 (see, eat, enjoy)	ア イ	ア(ア)(ウ) イ(ウ) エ(ウ) オ(イ)(エ)	場面 家庭、地域 働き 質問、報告、発表、 歓迎、命令	90-97	7
まとめ	世界の友達 3	既習の言語材料		ア(ウ)	働き 報告、呼び掛け	98-99	1
	You can do it! 3	既習の言語材料	ア	エ(ウ)	働き 報告、発表、歓迎	100-101	2
英語の物語		I can / can'tなど	イ	イ(エ)	働き 説明、命令、褒める	102-103	1
Alphabet Time 4 ~ 8		アルファベット、各Unitの語彙		イ(ア)		105-109	-
All About Me		各Unitの言語材料		オ(イ)			-
						合計時数	70